

北海道立図書館報

No.209

2020.9.16



閲覧室
手前：北方資料室
奥：道立文書館



道立文書館外観（正面・東側）



道立文書館外観（西側）

道立文書館へ移転した北方資料室

令和2年5月26日、当館北方資料室が道立文書館に移転オープンしました。
北方地域に関する両館の資料を1か所で利用できるようになりました。
(詳細は特集1でご紹介します。)

目次

- ▶ にれ「スマホ世代と北海道青少年のための200冊」・・・・・・・・・・ 1～2
- ▶ 特集1「北方資料室の移転について」・・・・・・・・・・ 3～4
- ▶ 特集2「新型コロナウイルスと図書館」・・・・・・・・・・ 5～8
- ▶ 図書館紹介「町民の期待に応え続ける図書館をめざして」・・・・・・・・ 9～10
- ▶ 活動報告
 - 「連携事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - 「展示を振り返って」・・・・・・・・・・・・・・・・ 12～14
- ▶ 最近の出来事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15～17
- ▶ 令和2年度（2020年度）上半期の事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- ▶ 掲示板・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

に れ

「スマホ世代と北海道青少年のための200冊」

北海道立図書館副館長 宮岡 孝博

この文章を書いている今、東京都では連日200人を超える新規感染者が出ており、この稿が皆様のお手元に届く頃には、少しでもコロナ騒ぎが落ち着きを見せていることを願うばかりですが、はたしてどうなっているのでしょうか？

当館もコロナの感染拡大を防ぐため、休館や一部サービスの中止等の対応を行ってきましたが、5月26日（火）からは来館者の体温測定や入館登録、手指の消毒に協力をいただきながら、現在はほぼ平常どおりのサービスを行うことができいております。この間、皆様にご理解とご協力をいただきましたことに、厚く感謝を申し上げます。

さて、話は図書・図書館から少しそれますが、平成29年（2017年）春、ソフトバンクのスマホのコマーシャルで、主役の広瀬すずさんが、「私たちは子どもの頃からスマホが当たり前であって育ってきた世代 スーパースチューデント」というCMが流れていました。これは、中高生の輝かしい未来を予見させる内容構成でしたが、実は私は若干不安・違和感を抱いたものでした。

当時私は、北海道の環境生活部で青少年担当課長をしており、スマホやSNS、インターネットが若者に与える影響についていろいろ話を聞く機会があったからです。

アメリカのある研究者は平成7年（1995年）以降に生まれた世代を「スマホ世代」と呼び、最新の流行をはじめ、趣味も友達との交流もほぼすべてがスマホを介してつながっていることから、「超つながった若者」と呼んでいます。少しでも疑問に思ったことなどは、スマホを使って検索したり、スマホに話しかけたりしてただちに解決してしまう。流行もおいしいお店情報もたちどころに共有できる。確かに情報処理能力は高く、私たちの子ども時代に比べ比較にならないほど知識の量も内容も豊富に持ち、是非善悪の判断能力も高いものがあります。

しかし、上記アメリカの研究者が1,100万人もの若者を対象に行った調査によると、スマホ世代はあまり外にでず、多くの時間を屋内で過ごし、何事にも慎重でリスクを嫌うことから【成長が遅い】、友人や知人との直接コミュニケーションが少なく、メールなど少ない文字数でやりとりし、使う言葉の種類や範囲も限定的であることから、【社交スキルと認知能力が低い】、また、常につながっていることが求められることによるストレス、知らなくても良い、知りたくもない情報が勝手に送られ氾濫してくることなどから、【常に不安を抱き、うつが常態化している】と警鐘を鳴らしているところでもあります。

もちろん、スマホ世代がただちに大きな問題を起こすとか、課題が多い世代であるというつもりはありませんが、自殺者が前世代から大幅に増えているとの統計もあり、懸念をもつところであります。当然のように、スマホやゲームに費やす時間が長い子どもたちは、その分読書や外遊びが

減っています。これに対する本（読書）の効能は、私が今更申し上げるまでもないことであり、各学校、特に小学校では、朝読活動などをはじめ、少しでも本を読むことを習慣化するための取組を積極的に行っており、各市町村の図書館においても、趣向を凝らした取組を進めていただいております。

本に関わっては、道と一体となって青少年の健全育成活動を行っている「北海道青少年育成協会」が、皆さんもご承知だとは思いますが、「北海道青少年のための200冊」の紹介を行っております。



これは元々、昭和42年（1967年）に「北海道学校図書館協会」が「北海道青少年のための100冊の本」を選定したのが始まりで、その後、全道的に展開した非行防止運動の一環として有害図書等排除道民運動を展開する中で、店頭などから有害図書を排除するだけでなく、一方で青少年に読んでほしい図書の情報を提供することも健全育成に大きく寄与するとの考えから、現在まで、発展的に続けているものであります。当初の目的である「非行防止」的な要素は、今は、少し薄れているところですが、新たな役割はますます重要性を高めているものと考えます。

事業のスタートから一貫して「北海道学校図書館協会」の皆さんが、手弁当で定期的に会合を開き、図書の選定からその紹介文まで、ほぼボランティアで取り組んでいるものであり、改めて頭が下がる思いです。

皆さん方の多くの図書館でもそうだと思いますが、当館においても独立したコーナーを設けて、その素晴らしさを紹介しておりますが、事業の開始から50年、半世紀を経る今、子どもたちだけでなく、私たちが改めて手に取って、その重さを感じてみるのも良いかもしれませんね。



北方資料室の移転について

赤れんが庁舎（北海道庁旧本庁舎）の大規模改修及びリニューアルに伴い、道立文書館が、当館の北方資料室との複合施設として、今年2月、赤れんが庁舎から当館の敷地内に移転しました。

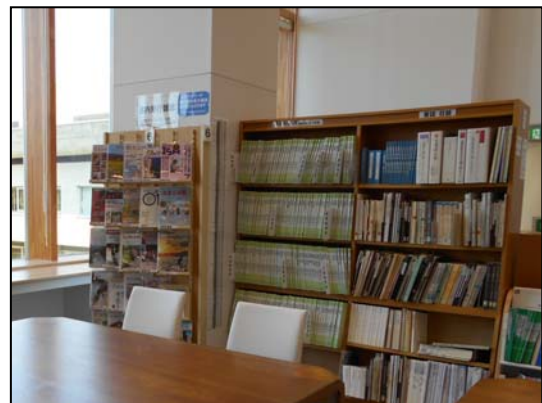
昭和42年（1967年）4月に現在の道立図書館が江別市に開館して以来、約53年間ご利用いただいていた「北方資料室」は、中2階での閲覧サービスを2月2日（日）に終了し、新施設でのオープンまでは一般資料閲覧室のカウンターにおいてサービスを継続しました。



新施設は当初、4月18日（土）にオープンし、21日（火）から通常の閲覧サービスを開始する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のための延期を経て、5月26日（火）、サービスを貸出しに制限し、オープンしました。

建物は当館と隣接しており、2階一般資料閲覧室と文書館の2階が連絡通路でつながっています。連絡通路から入ってすぐが北方資料室、奥が文書館の閲覧室で、窓口も隣り合っており、北方地域に関する両館の資料を1か所で利用することができます。

閲覧室には、図書約3,000冊、道内発行の雑誌25種のほか、道内の地方新聞、業界紙、フリーペーパー等42種を配置し、手に取って見ることができます。これまでと同様に、蔵書のほとんどは書庫に収めていますが、ご希望に応じて書庫からお出ししますので、お気軽にお申し付けください。



閲覧室内には新たに視聴覚室を設置し、DVDやレコードなどの視聴覚資料をより気軽にご利用いただけるようになりました。

また、インターネット上の情報を閲覧するための端末は従前どおり2台備えていますが、このうち1台は、国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスを利用できる機能を追加しました。



さらに、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）を踏まえ、拡大読書器を新たに備えました。フルハイビジョンカメラを搭載し、ハイビジョン液晶モニタに表示されますので、ルーペよりもゆがみが少なく、広範囲をご覧になれます。

6月3日（水）からは、閲覧席を半数に減らすなどして、利用者が密集する状態を避けるなど新

型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上で、閲覧サービスを開始しています。

市町村史を丹念に読み込んだり、地図を調査したり、道内企業の情報など仕事上の調べ物をしたり、また、古い新聞記事をマイクロフィルムで探したり、ありし日のまちの様子を映し出すDVDに見入ったりするなど、北海道や旧樺太・千島に関する資料を思い思いに利用する方々の姿が戻ってきました。どちらかのカウンターでお受けした来館者からのご質問に、両館の職員同士で相談しながら資料を提供する場面も増えてきました。

真新しく居心地のよい環境で、複合施設の利点を活かし、利用者サービスに努めたいと考えています。



(北方資料サービス課)

新型コロナウイルスと図書館

■ 当館の感染予防対策

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じています。

「北海道スタイル」安全宣言を掲げ、5月26日から開館しました。

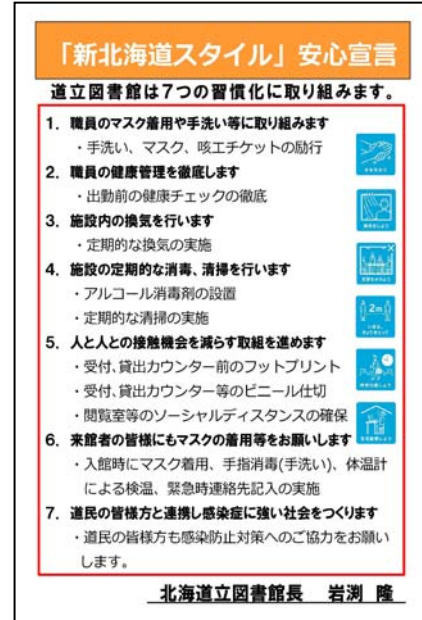
○入館時には利用者の皆様にご協力をお願いしています。

- ・マスクの着用及び体温計による検温
- ・アルコールによる手指消毒の実施
- ・利用者カードの提示又は緊急時連絡先の記入
- ・ソーシャルディスタンスの確保

○施設内の換気を行っています。

○施設の定期的な消毒、清掃を行っています。

- ・アルコール消毒剤の設置
- ・定期的な清掃の実施



「北海道スタイル」安心宣言

(管理課)

■ 当館のサービス

第1波 “うつらない、うつさない” …2月29日から3月31日まで休館

○2月29日～3月1日

- ・2月29日開催予定の講座「今、気になる!!私たちの暮らしと税金」を中止。当面、集客イベントは行わないこととしました。
- ・休館中のサービス内容について、検討・調整・周知。外出自粛要請により、来館者向けサービス及び図書館への協力貸出しは休止。Webや電話・郵送などを利用する、外出を必要としないサービスは継続。
- ・ボランティア活動の休止について連絡を行いました。

○3月2日～8日

- ・当初からの予定どおり蔵書点検を実施。例年依頼しているボランティアの協力はお断りしました。

○3月10日～31日

- ・職員は通常どおり出勤し、館内展示の準備など、再開に備えて業務を継続。また、この間、開架書庫の資料を一部移動し、すっきり探しやすくするなど、オープンスペース環境の改善を行いました。

- ・度重なる休館期間の延長。その都度、掲示・ホームページ等で周知を行いました。
- ・休園、休校中の子どもたちが楽しく学べるウェブサイト一覧「おうちライブラリー」をホームページで紹介。

“新たなステージへ” … 4月1日から17日まで開館

来館者対応再開。職員はマスク着用、手指の消毒を徹底し、換気や貸出本の除菌を行いました。閲覧席を半分に減らすなど、ソーシャルディスタンスの確保に注意を払いました。

北方資料室が移転開館準備中のため、臨時休館前と同様に一般資料・北方資料合同の窓口で対応。札幌市・江別市の図書館が休館を継続したこともあり、利用が集中しました。特に新聞・雑誌のバックナンバーのように、図書館ならではの資料が求められました。

ボランティア活動はマスク着用の上、再開（4月17日まで）。図書館への協力貸出しの休止は継続。

第2波 “3つの密を避ける” … 4月18日から5月25日まで休館

再び休館。既存サービスであるインターネット予約貸出（自宅受取）の広報に力を入れました。その結果、4月から5月の貸出冊数が前年度比6.4倍の121冊に上りました。

市町村立図書館の再開が徐々に広まったことから、5月22日から希望館への協力貸出し・インターネット予約貸出（市町村受取）の発送を順次再開。

来館者対応の再開に向けて、一般資料閲覧室に、雑誌スポンサーからの寄贈雑誌を配置するコーナーを新設。

6月1日までの休館予定を繰り上げて5月26日から開館することとしました。

“新北海道スタイル” … 5月26日から開館

北方資料室が新しい施設でオープン。一般資料室とともに、来館者対応再開。当面、図書の貸出しのみのサービスとし、閲覧席は撤去しました。4月1日開館時と同様の対策に加え、閲覧室カウンター周囲にビニールシートを設置。

6月3日から利用制限を緩和し、ほぼ通常サービスの開始。閲覧席を半分戻し、机上にパーティションを設置。

6月9日から協力貸出し・インターネット予約貸出（市町村受取）の発送を全面再開。

6月18日から例年より2週間遅れで開館時間の延長を開始。ボランティア活動を再開。新北海道スタイルに取り組みながら、サービスを継続しています。

		2/29-3/1	3/2-3/8	3/10-3/31	4/1-4/17	4/18-5/25	5/26-6/2	6/3-
		臨時休館	臨時休館 [蔵書点検]	臨時休館	開館	臨時休館	開館	
個人の方へのサービス								
来館（貸出）		×		→	○	×	○	→
来館（閲覧・レファレンス・リクエスト）		×		→	○	×	→	○
ネット予約	来館受取	△受付		→	○	△受付	○	→
	市町村受取	△受付				→	○順次発送	→
	自宅受取	○	△受付	○				→
レファレンス（電話・FAX・メール・文書）		○	×	○				→
複写物郵送		○	×	○				→
図書館へのサービス								
協力貸出し		△受付				→	○順次発送	→
レファレンス		○	×	○				→
複写物郵送		○	×	○				→

（一般資料サービス課）

■ 新型コロナウイルス感染拡大にかかる道内図書館（室）の対応

北海道では2月中旬ころから感染の広がりが見られ、2月28日に道知事による緊急事態宣言があり、3月上旬には全道の半分以上にあたる112自治体の図書館（室）が臨時休館をしていました。その後、道立図書館をはじめ再開館の動きが見られましたが、4月16日に国の緊急事態宣言が全都道府県に拡大されたことをうけ、4月24日時点では全道179市町村のうち166の自治体で図書館（室）が臨時休館しており、その状態は5月下旬までのおよそ1か月間続きました（休館状況は企画支援課調べ）。

しかし、本を求める利用者の声に応えるとともに、「ステイホームの今こそ読書を！」、「休校中の子どもたちの学習支援を！」という熱意のもと、多くの図書館（室）で工夫を凝らした取組がなされ、一部は現在も継続中です。取組内容の一例を紹介します。

①本の宅配サービス

児童クラブ、学校（分散登校時）に配本しました。郵送のほか、図書館（室）職員自ら利用者宅へ配達した自治体もありました。

②通常のサービスを拡大

1回の貸出制限冊数を増やしたり、貸出期間の延長を行いました。

③事前予約による貸出しを実施

電子メールや電話による非来館型での予約を受け付け、資料の受け渡しは図書館（室）の玄関などで行いました。

④動画配信

絵本の読み聞かせ動画、教科書副読本のお話動画などをインターネットで配信しました。

⑤遊びメニューの提供

オリジナル塗り絵や工作キットなどの配付やホームページでの公開を行いました。

⑥学習支援や情報提供

調べ学習のサポートやおすすめ本リストの発行を行いました。

上富良野町のチラシ

根室市のチラシ

なお、各市町村の具体的な取組については、『あけぼのつうしん』

No. 71（令和2年7月発行。当館ホームページで公開中）で紹介しています。

左：せたな町のチラシ

右：興部町のチラシ

（企画支援課）

町民の期待に応え続ける図書館をめざして

蘭越町花一会図書館 館長 小林勝司

蘭越町花一会図書館は、平成19年9月1日、町民コミュニティ施設「蘭越町コミュニティプラザ花一会」に公民館図書室を移転し、図書館活動等を行う生涯学習施設として開館しました。開館当初から図書館法に基づく公立図書館にしてほしいという要望が読書活動ボランティアや住民の一部から寄せられ、町議会でも度々言及されていました。公立図書館の設置に当たって、施設規模などの要件や基準はないものの、町としては、ある程度の蔵書数を確保し、最低限必要な図書館機能を整備し体裁を整えた後という思いがありました。

平成31年4月1日、インターネット蔵書検索機能を付加した図書管理システムを再整備し、新たに閉架書庫を備え、蔵書数も約5万冊の目途がたったことから、名称も「蘭越町花一会図書館」と改め、図書館法に基づく公立図書館としました。

図書館施設自体は、平成7年に花いっぱいのもちづくりのシンボリック

施設として建設された鉄筋コンクリート造一階建て、延床面積475㎡の洋風建築の建物で、名称に用いている「花」は、花を育てて町を美しく、花を通じて人と人をつなぎ、そして、訪れる方々を温かく迎える「花いっぱい運動」に由来します。

図書館のコンセプトは、開館以来「みんなが集う花一会図書館」、「外に飛び出す図書館活動」で、日常的な学校図書館支援サービスが大きな特色になっています。図書館職員が小中学校を毎週定期的に巡回し、学校司書の役割を担って学校図書館の管理、運営・利用指導などを行う学校図書館巡回派遣事業、図書館の図書管理システムに学校図書館も組み入れ、図書館が学校図書の選書協力・図書購入、目録作成、蔵書管理まで一元的に行い支援する学校図書館図書センター事業、小学校の国語科の授業で、図書館職員、読書ボランティアによる読み聞かせや



花一会図書館外観

ブックトークを行い、図書館から持ち込んだ図書の中から児童が自分で選書した本で学級文庫をつくる「みんなの本だな事業」、中学校では、みんなの本だなの中学校版「ひろがる本だな事業」を継続して行っています。

また、ブックスタートで乳幼児期から多くの絵本に親しみ、保育所や幼稚園に



花一会図書館 館内

においては、絵本の面白さや楽しさを味わいながら「見る力」「聞く力」「話す力」を身に付け、小学校就学後の読書活動に繋がるよう、保育所、幼稚園の園児が毎月1回図書館を訪れ、図書館職員にブックトークや絵本の読み聞かせをしてもらった後、園児一人ひとりが自分で絵本を選び、その選んだ絵本を保育所や幼稚園に持ち帰って施設内文庫とする取組（ちっちゃいほんだな）を、保育所、幼稚園から家庭への持ち帰りを推奨しながら行っています。

図書館法に基づく公立図書館、正式な図書館になると何が変わるのか、実際、利用者や町民にとって図書資料の複写サービスが可能となることを除いて何も変わりません。しかし、「わざわざ、図書館だと思っていたものを改めて図書館にするってんだから何かが変わるんだろう。何かが始まるんだろう。」

当然利用者や町民は納得しません、期待は膨らみます。図書館は期待されるその何かに応えていかなければなりません。条例図書館になったことの意義を実感、納得してもらえるよう、利用者に寄り添い、町民のニーズや期待に応じて図書サービスが変わり続けていく図書館でありたいと思います。



館内 ちっちゃいほんだな

連携事業

■ 道立図書館・道立近代美術館連携展示

昨年度に引き続き、道立図書館・道立近代美術館相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に併せ、道立近代美術館内に当館の蔵書を紹介するコーナーを設置しています。新型コロナウイルス感染症の拡大防止による展示中止も危ぶまれましたが、今年も無事に展示することができました。



今年度は、「キスリング展－エコール・ド・パリの巨匠－」から始まり、「山川草木－美は自然に宿る－」、それぞれの展覧会に関連する図書や雑誌等の資料を展示しました。

(一般資料サービス課)

■ 道議会図書室・道立図書館連携展示

北海道議会の新庁舎移転に伴い、今年6月、新庁舎2階に道議会図書室が移転オープンしました。新しくなった図書室は、開架スペースも広がり白と木目を基調とした明るい空間となっています。

当館と道議会図書室の連携事業のひとつとして、年に数回、道議会図書室内に設置した展示コーナーで、道立図書館の蔵書を中心としたテーマ展示を行っています。移転オープン後の第一弾は、「北海道みんなの日（道みんなの日）」関連事業として令和2年（2020年）6月16日から7月22日まで、「もっと身近に！議員提案政策条例」を開催しました。

「道みんなの日」は、平成29年に議員提案により制定された「北海道みんなの日条例」による記念日で、道民が北海道の歴史や文化などを見つめ直し、これからの北海道を考える契機とするため定められました。議員提案政策条例には他に「北海道自転車



条例」や「北海道花きの振興に関する条例」など様々あり、本展示では、そうした条例の紹介や関連する資料を、道議会図書室蔵書と合わせ約100冊ご紹介しました。

今後も、旬なテーマで連携展示を行っていく予定です。

(一般資料サービス課)

展示を振り返って

【一般資料閲覧室】

○「図書館のある暮らし」

期 日：4月1日（水）～ 5月28日（木）

昭和25年4月30日に図書館法が制定されたのを契機に、日本の図書館活動が新しくスタートしました。日本図書館協会はこの日を記念して「図書館記念日」とするとともに、続く5月を「図書館振興の月」としています。これにあわせ、図書館の活用法をまとめた本や、図書館を舞台とした小説など、図書館にまつわる様々な資料を展示しました。

○「本でひもとく日本映画 ー松竹映画100年ー」

期 日：5月30日（土）～7月30日（木）

今年は、現在の映画会社・松竹につながる「松竹キネマ合名社」が設立されて100周年の年に当たります。日本初のトーキー映画やカラー映画の製作を手がけるなど、常に新しいことに挑戦し、日本映画史を飾る数々の名画を生み出しました。本展示では、松竹映画を含め、日本映画を彩った監督、俳優、作品等に関する資料を展示しました。



○「北海道青少年のための200冊」

期 日：7月1日（水）～8月30日（日）

北海道青少年育成協会が中心となり選定した「北海道青少年のための200冊」の展示を行いました。北海道日本ハムファイターズ読書促進全道キャンペーンの参考図書ということもあり、多くの貸出しがありました。



○「納涼！怖い本の世界」

期 日：8月1日（土）～9月29日（木）

幽霊、怪物、怪奇現象、都市伝説等さまざまな怖い本、怖い映画の本、そして怖いを科学する本など、夏の夜を涼しくする怖いに関する本を展示しました。



【えほんコーナー】

○「おおきい絵本とちいさい絵本」

期 日：5月8日（金）～6月28日（日）

4月23日（木）～5月12日（火）の「こどもの読書週間」に合わせ、「こんな大きな絵本があるの！」と子どもたちが驚く大型絵本や、貸し出して持ち帰るのにぴったりの小さな絵本を展示しました。例年こどもの読書週間に合わせて開催している「大型えほん100」をコロナ対策のため中止し、その代替として企画したものです。



○「写真でたのしむ、写真をたのしむえほん」

期 日：7月1日（水）～8月27日（木）

遠くへ出かける機会が少なくなっている今こそ絵本で様々な世界をのぞいてもらえるように、動物や自然の驚きの瞬間をとらえた絵本や、夏にぴったりの海に関する絵本など、色々なジャンルの写真絵本を展示しました。



(一般資料サービス課)

【北方資料閲覧室】

北方資料室では、ウポボイ開設に合わせ、アイヌ文化に親しんでいただけるよう、コミックス『ゴールデンカムイ』や『知里幸恵ノート』を題材にした所蔵資料展を行っています。

○「もっと知りたい！アイヌ文化」

期 日：令和元年（2019年）

12月27日（金）～通年展示中

『ゴールデンカムイ』は、アイヌ民族の少女が活躍する漫画で、平成26年（2014年）に漫画誌で連載開始以来、史実とフィクションを織り交ぜたカムイワールドが人気を集めています。



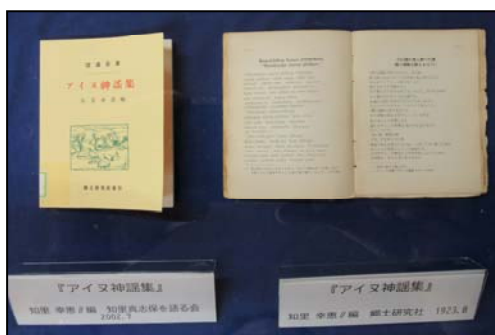
当室では、『ゴールデンカムイ』をより多くの方々に楽しんでいただけるよう、貸出しが可能なコミックスに加えて、新たに閲覧専用のコミックスを書架の一角に揃え、閲覧室でゆっくり読んでいただいています。また、『ゴールデンカムイ』に描かれている食べ物や狩りなどのアイヌ文化について、気軽に知識を深められるよう、コミックスの巻末に掲載されている参考文献や最近発行された入門書的な図書65冊も合わせて展示しています。

【一般資料閲覧室北方資料展示コーナー／北方資料閲覧室】

○「知里幸恵ノート～19年の生涯をかけた偉業～」

期 日：4月1日（水）～9月29日（火）

“銀のしずく降る降るまわりに…” これは、知里幸恵（ちり ゆきえ）が編んだ『アイヌ神謡集』の冒頭「梟の神が自ら歌った謡」の歌いだしです。



知里幸恵は、病身を押して、祖母や伯母から聞いたアイヌの物語をローマ字で表した上、日本語に訳しましたが、『アイヌ神謡集』の出版をまたず、19歳でこの世を去りました。

当館では、『アイヌ神謡集』等の元となった知里幸恵の直筆のノート4冊を所蔵しており、このノートは2010年（平成22年）に道指定文化財に指定されました。現在、ノートの一部は、国立アイヌ民族博物館で展示されています。

展示では、「生い立ち（～14歳）」、「金田一京助との出会い（15歳）」、「ノートとアイヌ神謡集（17～19歳）」、「現在も親しまれるアイヌ神謡集」の4部構成で、ノートのレプリカや『アイヌ神謡集』各版をはじめ、外国語翻訳、『アイヌ神謡集』が掲載された教科書などを紹介しました。

（北方資料サービス課）

最近の出来事

■ 多目的室と利用案内のリニューアルについて

令和2年（2020年）4月、中2階（北方資料室跡）に多目的室を新設しました。多目的室では、無線LANが利用できます。自習スペースも設置し、PC利用に便利な電源もありますのでご利用ください。なお、多目的室では、青少年アートギャラリーを実施しております。



利用案内をリニューアルしました。ぜひご覧ください。

館内図

2階
北方資料室（国立文書館2階）
開架書庫
一般資料閲覧室
子どもの本

1階
読書室
えほん
エントランスホール
図書展示資料室

公共電話
飲食スペース
ロッカー
自動販売機
女性/男性WC
多目的WC

北海道立文書館のご案内
北海道立文書館は、北海道の公文書を中心に、北海道の歴史に関する文書、記録等の資料を収集し、保存するとともに、これらの資料を利用していただくことを目的に設立され、令和2年4月、赤れんが庁舎から当館敷地内に移転しました。
文書館と北方資料室の間隔室（カウンター）は同じフロアにあり、両館の北方地域に関する資料を一か所で利用することができます。

開館時間
火～日曜日 9:00～17:00
6～8月の毎週木・金曜日 9:00～19:00（月末休館日を除く。）

休館日
月曜日（国民の祝日の場合は、その直後の平日）
毎月末日（国民の祝日、月・土・日曜日の場合は、その直前の平日）
年末年始（12月29日～翌1月3日）
蔵書点検期間（年1回 10日程度）

交通案内
●JR函館本線「大森駅」南口下車徒歩7分
●新札幌駅から
○JRバス/⑨番乗り場から（22・新 22系統を除く。）
「大森駅南口」下車徒歩7分
○夕鉄バス/⑩番乗り場から（札幌大通り8を除く。）
「大森駅南口」下車徒歩7分
●自転車利用…札幌駅から約17キロ、約30分

北海道立図書館

HOKKAIDO PREFECTURAL LIBRARY

北海道立図書館
〒069-0834 札幌市文京区南甲41番地
Tel 011-386-8521（代表） 386-8531（総務企画部）
386-8522（一般資料室） 386-8523（北方資料室）
Fax 011-386-6906
Eメール support@library.pref.hokkaido.jp
ホームページ <http://www.library.pref.hokkaido.jp>

（管理課）

■ Facebook（フェイスブック）はじめました！

令和2年（2020年）2月、当館の公式アカウントをFacebookで開設しました。図書館の様子や各種事業案内のほか、新刊情報なども随時投稿しています。ぜひご覧ください。

北海道立図書館ホームページ>道立図書館について
>北海道立図書館ソーシャルメディアの運用について
>北海道立図書館Facebook（外部サイト）



北海道立図書館 〒069-0834 江別市文京台東町41 文字サイズ 大 小 背景 黒 白 リセット Google カスタム検索

電話：011-386-8521 ファックス：011-386-6906 このサイトについて お問い合わせ サイトマップ English Guide

道立図書館について サービス案内 開館日・イベント 交通案内 道内図書館一覧

蔵書検索 道立図書館内の本をさがす
キーワードを入力してください。
(書名、著者名、出版社) 検索
▶詳細検索へ

横断検索 道内図書館の本をさがす

北海道雑誌新聞 総合目録

インターネット予約貸出
利用者ポータルログイン
利用者ポータル「未登録」の方
▶新規パスワード登録
ヘルプ
▶よくある質問 (FAQ)

ホーム / 道立図書館について / 北海道立図書館ソーシャルメディアの運用について

北海道立図書館ソーシャルメディアの運用について

概要

イベントや展示の案内、その他各種事業について情報発信をしています。
運用ポリシーについては、次の添付ファイルをご覧ください。

北海道立図書館ソーシャルメディア運用ポリシー (PDF: 104KB)

北海道立図書館 Twitter (外部サイト)

北海道立図書館 Facebook (外部サイト)

問合わせ先

北海道立図書館総務企画部企画支援課

- 電話番号：011-386-8521
- ファックス：011-386-6906

(企画支援課)

■ 令和2年度の北海道図書館振興協議会との連携事業

当館は北海道図書館振興協議会と連携し、日々研修、情報共有等を行っています。

北海道図書館振興協議会は、道内における図書館・図書室等の活動の振興を図ることを目的として、住民サービスを行う道立及び道内市町村立図書館等により構成され、今年度は主に次の事業を行っています。

1 会議・研修等（研修は北海道図書館振興協議会と北海道立図書館の共催事業）

今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な事業が延期・中止・開催方法の変更をしています。7月の全道図書館中堅職員研修、9月の北海道図書館大会（当館・北海道図書館連絡会議主催）が中止となりましたが、後半については、10月より、6月から延期していた全道図書館新任職員研修、そして、全道図書館専門研修（4回）について、道の「新型コロナウイルス感染症対策に関する基本方針（令和2年5月29日）」に基づいた「新北海道スタイル」の実践による対策をし、当初の事業計画どおりの開催を予定しています。

2 地方研究集会への支援

各管内の図書館協議会における研修事業や研究事業に助成をしています。当館職員も相互協力促進事業（当館事業）として依頼に応じて講義や情報提供を行っています。

3 調査研究事業

道立・市町村立図書館職員7名から構成される調査研究チームにより、地域における知の拠点として機能し続ける図書館運営のあり方や課題解決支援サービスについて、2年間でテーマを決めて道内市町村の状況や先進事例等の調査研究を行い、報告書を作成しています。

令和元・2年度は、「図書館経営」をテーマに調査しており、調査研究の成果は、今年度末に報告書としてまとめます。

なお、過去の報告書については、「学校図書館への支援」、「高齢者・障がい者サービス」、「電子資料」等、当館のホームページ（「関係団体等」）で公開しています。

4 その他

「北海道の図書館」（市町村立図書館等の統計）等作成や、道内図書館と関わりのある北日本図書館連盟、日本図書館協会、全国公共図書館協議会等とも連携して情報共有を行っています。

（企画支援課）

令和2年度(2020年度)上半期の事業一覧

事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
1 令和2年度北海道図書館振興協議会第1回理事会・総会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催	令和2年4月	-	北海道図書館振興協議会理事会、総会	-	
2 北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	①令和2年5月26日～6月28日 ②令和2年7月11日～9月6日	札幌市 (北海道立近代美術館)	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介する。 ①「キスリング展 ～北海道立図書館の蔵書から」 ②「山川草木 ～北海道立図書館の蔵書から」	-	
3 令和2年度(2020年度)北海道読書推進運動協議会総会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催	令和2年6月	-	令和元年度報告、令和2年度(2020年度)計画など	-	
4 (全道図書館新任職員研修会) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期	令和2年6月11日～6月12日	北海道立図書館	道内の図書館等勤務1年未満の職員を対象とした、新任職員向け研修	-	10月8～9日に開催予定
5 道議会図書室・道立図書館連携展示事業	①令和2年6月16日～7月22日 ②令和2年9月8日～10月2日	札幌市 (北海道議会図書室)	道政にかかわるテーマで、当館と道議会図書室の資料を併せて展示 ①「もっと身近に！議員提案政策条例」 ②「北海道と食」	-	
6 (全道図書館中堅職員研修会) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	令和2年7月9日～7月10日	北海道立図書館	道内の図書館等勤務3年以上の職員を対象とした、中堅職員向け研修	-	
7 令和2年度子ども向け書庫ツアー	令和2年8月13日	北海道立図書館	図書館での資料の探し方の説明のほか、主に昭和時代に出版された子ども向けの資料を中心に紹介	7名	
8 (第61回北海道図書館大会) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	令和2年9月3日～9月4日	札幌市 (札幌市教育文化会館)	基調講演、分科会、ブース展示等	-	
9 (道立図書館まつり) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	令和2年9月26日	北海道立図書館	-	-	

掲 示 板

<職員人事異動>

転 出 令和元年11月16日付け

総務企画部長 藤 田 善 治 (学校教育局健康・体育課長へ)

転 入 令和元年11月17日付け

参 与 佐 野 秀 樹 (胆振教育局長から)

退 職 令和2年3月31日付け

副 館 長 毛 利 薫 (空知教育局主幹へ (再任用))

管 理 課 長 池 本 智 (教職員局福利課主任へ (再任用))

転 出 令和2年4月1日付け

参 与 佐 野 秀 樹 (衛生研究所副所長へ)

管 理 課 主 査 杉 崎 正 (教職員局教職員課主査へ)

転 入 令和2年4月1日付け

副 館 長 宮 岡 孝 博 (宗谷教育局長から)

総務企画部長 山 本 信 (学校教育局高校教育課主幹から)

管 理 課 長 氏 家 直 久 (生涯学習推進局生涯学習課総括主査から)

管 理 課 主 査 高 田 和 明 (檜山教育局教育支援課教育支援係長から)

北海道立図書館報 第209号

令和2年(2020年)9月16日 発行

北海道立図書館長 岩 渕 隆

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL: 011-386-8521 (代 表)

ダイヤルイン

386-8531 (総務企画部)

386-8522 (一般資料室)

386-8523 (北方資料室)

FAX: 011-386-6906

E-mail: support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ: <http://www.library.pref.hokkaido.jp>